

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	9	日本語表現法
1年	43	基礎キャリア形成ゼミ
2年	69	ブライダルビジネス実務

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●							
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		試験(筆記)	50%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題 (チェックテスト)	50%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
						授業回数	15 回			
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 ・日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 ・目的に合わせた文章(文書)作成ができるようになる。									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				日本語と英語との相違を考えてみよう(10分程度)。					
2	日本語の歴史				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
3	ことばと表現①(熟語、語句)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
5	敬語表現①(敬語の基本)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
7	修飾語と被修飾語との関係				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
8	修飾語と被修飾語との関係(練習問題)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
9	句読点の打ち方(原則論)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
10	句読点の打ち方と文章要約(述語への着目)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
11	句読点の打ち方と文章要約(必要な点と不要な点)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
12	句読点の打ち方と文章要約(境界の点)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
13	句読点の打ち方と文章要約(逆転の点)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
14	句読点の打ち方と文章要約(自由の点)				前回のチェック・テストの復習(10分程度)。					
15	文章の構成									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	『日本語の作文技術(朝日文庫)』本多勝一著(朝日新聞出版) 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著(風間書房)									
備考										
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-01				
	●	●	●	●	●					
科目名	基礎キャリア形成ゼミ				単位認定者	松崎 陽子		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	20 %
授業の概要					授業形態	演習	授業回数	15 回		
到達目標	自身のキャリアを形成することの意味を主体的に捉え、これからの社会生活をどのように充実させていくのかを考えられるようにする。また、最近の社会や職業の動向について理解を深め、働く意味について考え、自らの将来をイメージできるようにするなど、職業意識を涵養していく。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画をたてられるようにする。									
学修者への期待等	①キャリアとは何かを自分ごととして理解する。 ②変化と多様性の時代におけるキャリア設計について理解する。 ③自分のキャリアプランを実現するためにすべき事柄を導き出すことができる。 充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待します。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス、大学生活とキャリア				【事後】自分が2年間で目指すものを書き出してみる。(30分程度)					
2	「働くこと」の意味を考える				【事後】グループワークでの自分の役割の反省を行う。(30分程度)					
3	キャリアに対する思い込みを排除する				【事前】自分自身のキャリアの定義を考えておく。(30分程度)					
4	社会・企業の基礎知識				【事後】B to B企業を調べてみる。(1時間程度)					
5	「働き方」について考える				【事前】理想のロールモデルについて考えておく。(30分程度)					
6	社会人のキャリアヒストリーを聞く (その1)				【事後】講話を聴いての感想文を800字で書いて提出する(授業内課題)。(1時間程度)					
7	自己分析とは何か				【事後】授業で配布されたワークシートを完成させる。(1時間程度)					
8	社会人基礎力と自分に不足するスキルを知る				【事後】授業で配布されたワークシートを完成させる。(1時間程度)					
9	働く環境とワーク・ライフ・バランス				【事前】自分の理想とする「働き方」について考え箇条書きにしたメモを授業に持参する。(30分程度)					
10	組織と個人の成長				【事後】企業の分類・特徴についてまとめ、自分の志望する企業を選択する。(1時間程度)					
11	就職サイトへの登録と活用法				【事後】就職サイトで自己分析のページを利用してみる。(1時間程度)					
12	インターンシップと採用プロセス				【事後】就職サイトでインターンシップ情報を検索する。(30分程度)					
13	社会人のキャリアヒストリーを聞く (その2)				【事後】講話を聴いての感想文を800字で書いて提出する(授業内課題)。(1時間程度)					
14	自己分析から自己PRへ				【事後】自己PRを250字でまとめて提出する。(1時間程度)					
15	ふりかえり、キャリア形成と就活の実態				【事後】Afterに記入し、後期の取り組みを計画する。(30分程度)					
教科書	東海大学キャリア就職センター 東海大学現代教養センター編『改訂版キャリア形成1ー社会・集団・個人の役割を学ぶ』									
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。									
備考	・本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。 ・受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

4年制大学のキャリアセンターにて3年間キャリアアドバイザーとして勤務し、学生の就職支援を行った。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-08				
		●	●							
科目名	ブライダルビジネス実務				単位認定者	小野寺 理恵		試験 (レポート)	35 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題	35 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	本科目ではブライダルビジネスに関する基礎的な仕組みを理解することを目的とする。ブライダルビジネスの業態や業種、歴史やブライダルサービスに関する知識を習得するとともに、ブライダル実務能力の基礎を身につける。									
到達目標	結婚式のスタイルが多様化していくにつれ結婚式を演出するニーズも高まっている現在、ブライダルのどの業種に就職しても対応できるよう基礎知識を身につけ、ブライダルコーディネーター技能検定合格を目指す。									
学修者への期待等	現在のブライダル事情を理解し、人材の役割やスキルについても知識を深めてほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ブライダルコーディネーター基礎知識と過去問題解説				テキストP8～P32熟読(1時間程度)。					
2	(結婚とは?)ブライダルビジネス他				テキストP34～P47熟読(1時間程度)。					
3	(ブライダルの基礎)ブライダル集客システム他				テキストP48～P68熟読(1時間程度)。					
4	(ブライダルの基礎)ブライダル準備,キリスト教式他				テキストP69～P91熟読(1時間程度)。					
5	(コーディネーター業務)新規業務とブライダルセールス他				テキストP94～P110熟読(1時間程度)。					
6	(コーディネーター業務)プランニング,新規アフターフォローと成約業務他				テキストP111～P121熟読(1時間程度)。					
7	(打合せ業務 他)成約から初回打合せまで				テキストP124,P125熟読(30分程度)。					
8	(打合せ業務 他)中間～最終打合せ(当日)まで				テキストP126,127熟読(30分程度)。					
9	(コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定他)空間デザイン,衣裳選定,フラワーアイテム他				テキストP130～P153熟読(1時間程度)。					
10	(コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定他)美容,会場・テーブルコーディネート他				テキストP154～P187熟読(1時間程度)。					
11	(ブライダルの基礎と手配業務)ペーパーアイテム,美容他				テキストP188～P194熟読(1時間程度)。					
12	(ブライダルの基礎と手配業務)挙式・披露宴演出手配他				テキストP195～P204熟読(1時間程度)。					
13	(ブライダルの基礎と当日業務)進行表,テーブルセッティング,サービス業務,花の管理他				テキストP206～P228熟読(1時間程度)。					
14	復習(1～6回目の復習)				過去問熟読。					
15	復習(7～12回目の復習)				過去問熟読。					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード									
参考文献	特になし									
備考	・毎回、テキストや配布プリントを熟読してきてください。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

ホテルや神社、ゲストハウスでのブライダル経験(美容、司会、アテンド、プランナー等)を活かし、具体的事例を交え説明する。